



吉川友子後援会報

2021(令和3)年8月

あなたとわたし 友 & 愛

No 34

発行：吉川友子後援会
会長 上野昭久
会計 高塚紀之

幹事長 田村至
事務局長 横山晴子



4月に行われた佐久市議会議員選挙は無投票に終わりましたが、ご支援ご協力いただいた多くの皆さま、日常からご支援いただいている皆さまに心から感謝いたします。無投票に終わったことは、多くの議員も課題と感じており、これから議員のなり手不足・議会の見える化にどのような対策をしていくか真剣に向き合っていかなければなりません。

5月には臨時議会があり、その際は副議長に立候補いたしました。議会内投票の結果、副議長に就任しました。今まではまた少し違った立場で議会にかかわることになり、議会全体のことと考えながら、佐久市議会が市民の皆さまに本當に役に立つ存在となるよう、一生懸命考えていきたいと思っております。

■所属委員会などは次の通りです。

- 総務文教委員会・予算委員会・議会活性化特別委員会
- 佐久広域連合議会・北佐久郡老人福祉施設組合議会
- 佐久市北佐久郡環境施設組合議会
- 一般社団法人 佐久市振興公社理事

今後とも、皆さまからのご意見をお聞きしながら、ご要望に応えることができますよう、しっかりと活動してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

じゅあーいっ

新しい会派「みらいの風」結成
議員の投票で副議長に就任

議会の提言で公共交通が変わります！

10月から公共交通が変わります。原則として循環バスは廃止となり、デマンドタクシーになります。望月と岩村田を往復していた千曲バスも廃止となり、代替バスとなるので、片道200円になります。運行時刻は学生に合わせた時間となるようで、今は600円以上するバスが200円になり、岩村田方面への通学は便利になることと思います。

乗合のデマンドタクシーも、望月と臼田地区は試験的にドアツードアのようにご自宅までタクシーがお迎えに行くこととなります(75歳以上、免許返納者、障がい者、妊産婦等制限あり)。バス停までが遠いという声も聞いていて、議会全体としても提言してきたことが実現されることは喜ばしいことです。また、前日までに予約が必要だったものが、乗車1時間前まで予約可能となります。運行日数も月曜日～金曜日となり、週2日のところもありましたが、平日は毎日利用可能となり、利便性が高まることが期待されます。まだまだ改善しなければならないところもあると思いますが、みなさんの声を聞いて、より使いやすい公共交通になるよう努力いたします。

「公共施設の今後についての素案」提示される

佐久市では平成29年に公共施設等総合管理計画を策定し、5年ごとに見直すとしています。今回は改定に合わせ、「個別施設計画」の素案が示されました。個別の施設名が示されており、地域の将来にとってとても大きな問題です。

中央図書館の減築建て替えや望月図書館の50%面積削減、桜ヶ丘ふれあいセンター・御鹿の郷ふれあいセンター・布施コミュニティセンターの地域への移管、ゆざわ荘や穂の香の湯の民間への譲渡または貸付、望月老人福祉センターの廃止、浅科給食センターを望月センター集約する、などが書かれています。その他にも多くの整理統合計画があります。これは地域の振興にとってとても大きな問題です。市民の皆さまと検討していきたいと思っております。

6月議会において「核兵器禁止条約への日本政府の署名・調印・批准を求める意見書の提出について」の陳情があり、賛成多数(総務文教委員会では全会一致)で採択され、各関係省庁へ佐久市議会より意見書を提出いたしました! 唯一の被爆国、また福島での原子力緊急事態宣言も解除されていない国として核兵器の使用禁止に関しては、他国のリーダーとなれる立場であると考えます。1日も早く、核兵器廃絶の批准が実現するよう。一層努力いたします。

人々の暮らし改善につながる猫ボランティア

私は3年ほど前から保護猫とTNR活動をしています。友人が拾った子猫がきっかけで、保健所に連れていくのはかわいそうだ、という想いからでした。その後、小さな子猫たちを預かるボランティアをさせていただき、これまで100匹以上の命を預かりました。懐いていない子猫の扱い方や、健康を害している子猫の扱い方も学びました。残念ながら自分の手元で失った命もいくつかあります。野で生を受けた子猫たちが生き続ける困難を感じるとともに、人間が少し手伝うだけで生き延びる命に感動します。

TNR活動(去勢・避妊手術をして元の場所に戻すこと)は昨年からは本格的に始めましたが、この活動を始めてみて、猫の問題は人間の問題だと実感しました。ただ単に猫の手術をして戻すだけなら単純です。しかし、地域猫や多頭飼育の問題には必ず元の飼い主やエサをあげている人が関わっています。特に多頭飼育では、飼い主も福祉的支援が必要な方もいます。私たちと一緒に活動しているボランティアの中には、飼い主の生活支援をしている人もいます。猫がきっかけで、飼い主やエサをあげている人に対する福祉的な支援につながることも多いのです。私も、声なき小さな命が住みやすく動物と人間が共生できる社会は、どんな命にも住みやすい社会だと思いこの活動を始めましたが、活動の中で、これは猫の問題であると同時に、地域で暮らす高齢者世帯や一人暮らし、また施設に入って空き家になった家の問題であることがわかりました。

市役所や保健所への相談もとても多く、私たちボランティアも市や保健所と連携をとって活動しています。私たちのような活動が国を動かし、今年の3月に政府は「人、動物、地域に向き合う多頭飼育対策ガイドライン～社会福祉と動物愛護管理の多機関連携に向けて～」を発行しました。長野県においても地域福祉支援計画の中に多頭飼育対策を位置付けています。

改めて一緒に活動しているボランティアの存在は本当に重要なものだと思っております。

新会派「みらいの風」メンバー



高橋良衛

吉川友子

小林英朗

加藤夕紀子

第二回定例議会が6月7日から7月1日まで開催され、吉川議員は「みらいの風」を代表して代表質問に登壇しました。

市長公約「女性登用率長野県下ナンバーワン」をどう実現するのか

(吉川) 市長は今回の選挙公約として、審議会などにおける女性委員の登用率について長野県下ナンバーワンを目指すと言われました。これは、SDGs5番目の「ジェンダー平等を実現しよう」という目標に重なりますが、日本は達成度がかなり低いという現実もあります。

「女性登用率長野県下ナンバーワンを目指す」という市長の公約ですが、女性委員の登用率向上の効果もメリット、最終的に目指すべき目標について伺います。

また、女性が学ぶ場を創設するという公約を掲げておられますが、どのような内容のものか、伺います。

(柳田市長) 政策に市民の意見を反映させる方法として審議会行政といった手法があります。この審議会行政で女性の視点をとり入れることは、大変重要であると考えています。令和2年4月1日現在の審議会等における女性委員の登用率は25・3%であり、県が公表した現状値では、19市中19位となっています。この点を反省し、女性の登用率長野県下ナンバーワンを公約としました。今年度は33%を目標としています。令和4年度を初年度とする第4



掲載にケーブルテレビの許可をいただきました

次佐久市男女共同参画プランにおいては県下トップを目指します。女性の登用を進めるにあたり、本年度の新たな施策として、女性活躍人材バンクによる取り組みをはじめました。審議会等の女性登用にあたりご協力いただける方をあらかじめ市で把握させていただき、審議会等の改選の際にその人材バンクに登録がある方にお声かけさせていただくといった取り組みです。次に女性が学ぶことができる場の創設です。佐久平女性大学(仮称)を創設します。具体的な内容については本年度、関係団体と協議を重ねていきたいと考えています。

現在の25%から40%くらいまであげていくためには、100ポスト以上必要です。今の人材バンクでは不足します。今回の公約、女性市民大学的なものを作って、女性の感覚やセンスが生かされていく社会にしていきたいということです。

(吉川) 審議会の人材を増やすという目的を持った大学ということですが、私は大学を作るならもっと広く考えた方がいいと思います。市民大学の中の一つとして、審議会や行政、政治を学ぶところ、またスキルアップや、育休をとって復職するときなどの課題を学ぶところなど、女性のエンパワメントとして使える場にしてほしいです。子育て中のお母さんたちが交流し仲間づくりができるところ、小さい子どもがいても学ぶことができるところなど、審議会の人材育成という学びに特化せず、多様な学びの場を作ってほしいと思います。起業したい女性もたくさんいますし、女性の経済的自立を援助する場にもなってほしいです。

各団体と意見交換をしながら進めていきたいということでしたが、具体的にどのような団体との意見交換をお考えですか？

(柳田市長) 佐久市議会女性議員連盟の皆さん、女性リーダー研修参加者のみなさん、

諸団体のみなさんなどの意見もお聞きしていくことが必要だと思っています。

(吉川) 学んでいる方たちが求めているもので内容を決めていくようなシステムになることを期待します。

川西赤十字病院への積極的支援を

(吉川) 新型コロナウィルスにより、長野県全県でも医療警報を発生し、医療現場は今も緊迫した状態です。「命の選別」や医療崩壊のニュースを見ると、普段からの医療の充実がいかに大切か、思い知らされます。柳田市長は以前から川西赤十字病院を支援すると言っています。地域の方々から出てきた日赤存続に関する陳情も議会として採択しています。

川西赤十字病院は、経営改善に向けて努力を重ねてきていて、実際に医師を増やし単年度赤字からは回復した経過もあります。そして日赤は地域に根付いた医療を目指していて、望月地域では小児科の個人医院が何軒か閉業したこともあり、子育て中の保護者からは小児科を求める声もあつたのですが、それに応えるべく、川西赤十字病院ではこの4月から小児科の先生を迎えました。地域の小児科で働いていた看護師さんも迎え入れ、見慣れた方がいて安心感を与えてくれています。

しかし、子育て中のお母さんたちと話すとき、建物が古くちよっと暗めで、子どもを連れて行きづらい、という声も聞きます。これから川西日赤が存続、また経営回復していくには、改築が欠かせないと考えます。川西赤十字病院は、日赤本社と施設老朽化の改善について協議を進めているとお聞きしています。

柳田市長は、今回の選挙において、川西赤十字病院への積極的な支援を公約としています。具体的などのようなことを考えていますか。

(市民健康部長) 佐久市は古くから地域の医療機関が地域の住民の皆さまと育んで

きた地域医療や、地域が一体となった保健予防活動により健康長寿のまちとして知られています。川西赤十字病院への支援策ですが、佐久市東御市立科町の3市町で構成する川西保健衛生施設組合で運営費補助、設備補助の財政支援をしています。川西赤十字病院は減価償却の耐用年数等に関する省令に定める耐用年数の39年を令和7年度に迎えることから、今後改築に向けた計画を立てていく予定だと聞いています。現時点では川西赤十字病院及び同病院の開設者である日本赤十字社から市に対して改築の具体的な支援の相談はいただけていませんが、病棟の改築や施設整備など、今後、具体的な相談をいただいた際には、病院関係者、関係団体や関係自治体を交え、具体的な支援に向けた話し合いを持ち、課題に対して市として積極的に関わりを持ち、取り組んでいきたいと考えています。川西赤十字病院はこの度のコロナウィルス感染症の感染拡大の事態においても新型コロナウイルスに関連する検査や感染者の受け入れのほか、現在立科町と市による共同で行われているワクチン接種も積極的に取り組まれています。川西赤十字病院は地域に根差した医療機関として地域になくはない公的病院です。ですから、今後の状況を注視して継続した支援をしていきたいと考えています。

(吉川) 川西日赤がこの地域にとってとても重要だという認識のもとで支援していくというお話で、ぜひその方向で支援をお願いします。地域完結型医療という体制の中で、医療センターからの転院は佐久病院本院の次に川西日赤が多いということ、佐久市全体の地域完結型医療にとっても大変重要な病院です。また新しい院長先生は災害医療のご専門だということで、災害に強いまちづくりにご助言いただけると思います。ぜひ、地域住民の要望に応え、引き続き川西日赤への積極的な支援を行ってください。

新教育長の教育行政に対する所感

(吉川) SDGsでは「2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする」とあります。社会も人々も多様になってきた中で、一人ひとりの個性や適性に応じてそれぞれの良いところや得意なものを伸ばす教育が求められています。子どもたちが学ぶ喜びを失わないよう、学校や先生方の新たなあり方も期待されています。今までの経験の生かし方、その方向性などお聞かせください。

(吉岡教育長) 私は、学びの原動力は感動であると思っています。そしてこの感動を生み出す源が感性であります。子ども心に自然に備わっている感性を育て、なぜ？と問を発し、不思議に自覚め、そこから知識を学び自分で考え調べ、判断し、最後には答えの実現を求めて自ら行動する、この繰り返しこそが生涯に渡り学び続ける姿につながるものです。この感性は人間関係にも生かされます。人の心の痛みに気づくこと、その人の立場を思いやる心根のやさしさはこの感性に基づき育てられるものです。私はこうした感性を子どもにももちろん、大人自身も身に付けることが生涯学習社会の実現のために教育が果たすべき大きな役割であると考えています。また、自主性を尊重するという高校教育での経験を義務教育でも生かしていきたいです。

(吉川) 学校が、学ぶ楽しさを知り、自分の良いところを発見する場になってほしいと思います。子どもたちにとって、学校はとても大事な世界。親でない大人と出会う場もあります。先生たちの働き方の改革も必要です。これからの佐久市の教育行政に期待します。